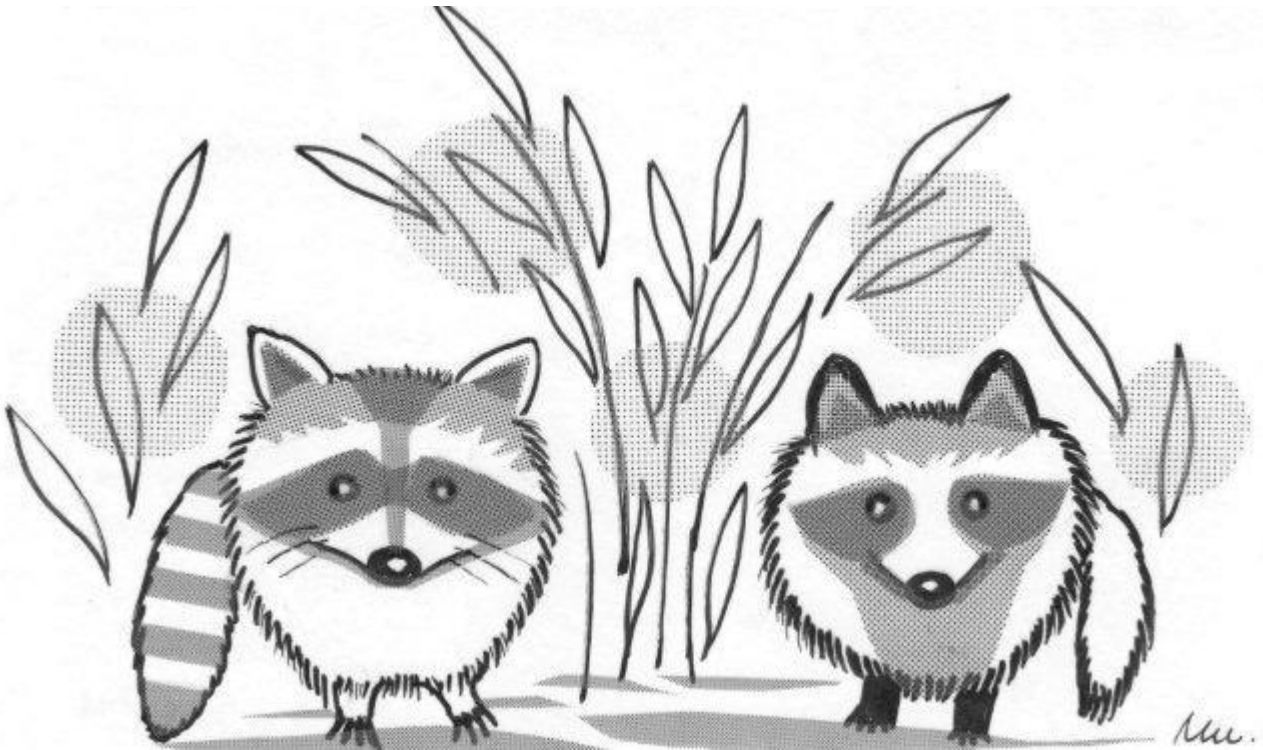




ゴロスケ報々



「どっちがなに？タヌキとアライグマ」

●第26回定期総会のお知らせ●

事務局からのお知らせ

友の会のボランティア活動拠点「ごろすけ館」の活用も定着し、2014年度も行事をはじめ、楽しくて、ためになる積極的な情報発信を予定しています。

会員の皆様のご参加・ご協力・ご提案をお待ちしています。

- | | |
|----|--|
| 日時 | 2014年4月6日(日) 10:00~12:00 |
| 場所 | 自然観察センター研修室 |
| 議案 | <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度事業報告・決算報告 ・2014年度事業計画・予算 ・理事監事の選任 ・その他 |

◆終了後、希望者に「森の説明会」(隔月で開催している「森を守るボランティア体験(通称「森ボラ」)」のオリエンテーション部分＝観察の森の役割、友の会の活動案内、園内のルールなど。30分程度)を開催します。森ボラに未だ参加していない会員の方は、この機会にぜひご参加ください。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●1月定例会報告●

2014. 1. 19 (日) 13:00~15:00

出席者 片岡 (議長)、村松、青木、落合、中里、大越、大浦、関根 (書記)、島根、吉田、篠原、高橋、古南R

1. 各PJ・調査グループの活動報告をしました。
2. 2月下旬~4月の活動予定を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・会計の締めについて
 - ・子ども向け行事 (新規) の検討
 - ・2014年度「森のボランティア体験」の担当PJの確認
4月-絵本 6月-鳥くら 8月-遊ぼう 10月-ZFC
12月-ハンミョウ 2月-カワセミ

5. センターより
 - ・保安全管理計画及び懇談会について
 - ・野外トイレ及びトレイルの工事について

次回定例会は
3月16日 (日) 13:00~ 研修室
※定例会は会員の皆様どなたでも参加できます。

●1月理事会報告●

日時 2014年1月19日 (日) 9:35~12:40

出席者 青木、漆原、大越、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、村松、山口 (議長)、古南R
(欠席: 秋元、中塚)

議 題

- 1 次年度事業計画
 - ・前回方針を受けて定例行事、子ども向け行事等を定例会及び各PJ等で立案中。次回、詳細を確認します。
- 2 定期総会準備
 - ・理事監事再任・変更や議長について確認しました。
- 3 個人情報取扱規定について
 - ・前回修正した部分を確認し、原案どおり了承、施行 (細則に追加) しました。
 - ・入会申込書情報や森ボラアンケートの活用など、新入会員へのフォローの仕組みを検討しました。
 - ・年度後半の入会希望者が4月まで入会を躊躇するケースへの対応策 (先行保険付保、会費免除の案などを含む) を検討しました。
- 4 利用推進会議
 - ・今後、日程調整。
- 5 安全管理
 - ・事故事件等なし。講習会 (スズメバチ) を予定。
- 6 その他
 - ・つながりの森・栄区関連行事についての横浜市長への陳情と回答を確認しました。
 - ・会報のWeb化について、現行の無償サーバー上に会員専用 (パスワード入力、ロボット検索拒否設定) で画面構成することとし、再度動作確認を行うこととしました。
 - ・地域PR・会員獲得のため、栄区上郷東連合町内会の既存行事に参加協力する形で連携できるか調整することとなりました。

<次回理事会>

日時 3月16日 (日) 9:30~12:00

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 定期総会準備
 - 2 新入会員フォロー (入会申込書情報の活用等) について
 - 3 早期入会促進策 (会費細則の減免規定追記等含む) について
 - 4 安全管理
 - 5 その他 (会報Web化、連合町内会行事対応、等)

●友の会の理事、事務局お手伝いの募集●

友の会の理事、事務局お手伝い（特に、交流行事や子ども向け行事のお手伝い）を募集しています！

- 4月の総会に向けて、次年度から理事に加わっていただける会員を募集します。
- 定例会や交流行事準備など事務局をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。

<新入会員・初心者歓迎！>

皆が楽しく集える行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか？

これまでに学生等でも理事として活躍した例があります。無理のない範囲の参加で OK、どなたでも大丈夫です。

理事の会員公募枠（3名以内）は幅広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適！>

何かと役立つグループ運営の実践や自主研修、ボランティア活動のきっかけとして、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加・体験いただけます。

理事は会員公募枠の他に、事務局枠（5名）、PJ 枠（各 PJ 1名ずつ）もあります。詳しくは事務局メンバーや各 PJ へもご相談ください。

<緊急募集！>

◎ネットワーク担当補助

いるか丘陵や小網代などでのネットワークイベントへの参加を担当します。イベントはメーリングリスト等での募集に応じて会員が参加しています。多くの会員の参加でネットワークの輪を広げましょう！

◎会計担当補助

支出（清算）は原則として2ヶ月に1回の会議のときとするなど、担当者に合わせたペースで OK。入金（振込）管理については会員名簿管理担当や事務局メンバーと相談しながらできて安心です。

◎事務局ボランティア（事務局員）

主要な事務（会計・会員管理・編集・定例会・書記・渉外（ネットワーク）など）は担当理事制で役割分担しているため、行事・会議のお手伝いが中心となります。まずは定例会への参加や恒例の交流行事の準備などから始めてみてはいかがでしょうか。

◎子ども向け行事のお手伝い

各 PJ や事務局で新たに子ども向け行事の企画・実施のお手伝いをしていただける方を募集しています。

<皆様の参加をお待ちしています！>

詳しい役割分担については4月総会后最初の理事会で調整・決定します。

多くの方に少しずつご協力いただけると、1人1人の役目がわかりやすくなって実行しやすくなります。

理事・担当の希望者は3月理事会（3月16日）の前までに今年度理事又は事務局へご連絡ください。

●ゴロ報電子化のお知らせ●

会員のみなさま

以前よりお知らせしていたゴロ報の電子化についてお知らせいたします。

ゴロ報をPDFに変換したものをHPからダウンロードしていただけることになりました。

会費振込み用紙に「ゴロ報の電子化を希望しますか？」という欄を設けましたので、どちらかにチェックを入れてください。

はい：ご自身でHPよりダウンロードしていただきます。印刷物は郵送されません。

いいえ：今までどおり会報を発送いたします。

ただし、4月と2月は全会員に郵送されます。

ゴロ報のダウンロード方法につきましては次回4月のゴロ報をご覧ください。

事務局 漆原

本物のイルミネーションを楽しもう

すっかり冬の風物詩として定着した感のあるイルミネーション。この冬も各地で行われているようですが、中には、暗くて静かな場所をわざわざ明るくして、「なんでこんな場所で」と思うようなところで行われるものもあります。きっと、頭の上にある本物のイルミネーションが見えていないのではないかと思えてしまいます。

今の時期、夜、外に出てみると、凜とした空気の中で冬の星々が輝きを放っています。全天で21ある一等星のうち7つが冬の星座にあり、それぞれの色で輝いています。

その色は・・・ベテルギウス（オリオン座）赤、アルデバラン（おうし座）オレンジ、ポルクス（ふたご座）オレンジ、カペラ（ぎょしゃ座）黄、プロキオン（こいぬ座）うす黄、シリウス（おおいぬ座）白、リゲル（オリオン座）青白と多彩です。

これらの星は肉眼でも十分に楽しめますし、バードウォッチングに使っている双眼鏡やフィールドスコープで見れば、なおその色と輝きを楽しむことができます。

星の色は、その表面温度によって決まってきます。表面温度が低いと赤く、だんだん高くなるにつれてオレンジ、黄、白、青白となります。

私たちの頭の上でさまざまな色の光の競演を見せてくれる星たちですが、その光は長い時間と距離を経て私たちに届きます。冬の大三角形のひとつ、オリオン座のベテルギウスは約640光年、つまり光の速さで640年かかるところから届いています。日本史で言えば鎌倉幕府が倒れた頃の光が今ようやく届いているということでしょうか。

星の色がなぜ違うのか、今見ている光はどのくらいの時間を超えて届いているのか……。こんなことに思いを馳せながら、今度の週末、本物のイルミネーションを楽しんでみませんか？

なにしろ、イルミネーションは、森の中で見た煌めく星を、木の枝に多くのロウソクを飾って再現したことが起源だそうですから。

あき

友の会活動報告

●＜定例活動の報告＞ 自然と遊ぼう●

例月は第4土曜日ですが、歳末もせまる12月は第2土曜日の14日に実施しました。

「親しむ」を入口にして自然大好き人間になってもらうプログラムで、今月は「落ち葉プール」です。

畑の一部を使わせてもらうばかりか落ち葉集めまで畑PJのご協力をもらいました。いつものように1回目、2回目と区切らずに、通りかかる子供や家族づれに声をかけました。

落ち葉の山に参加者も自分たちで集めた落ち葉をさらに積み重ね、ふかふかになった落ち葉の山をプールに見立て、頭から飛び込んで、潜って、泳いで…潜りこんで目をつぶって柔らかさと温かさを感じてみました。

普段のお行儀のよい遊びから、ちょっとワイルドな遊びに挑戦してみたのでした。

落ち葉集めで森の季節を感じ、遊び終わったあとには畑の栄養になるお話をし、森の恵みも感じてもらった遊びでした。

畑で熟した「金柑」の実のおすそ分けをもらって味わってもらいましたが、大人達には好評ですが、子供達にはあの苦みのせいか、評判はいまいちでした。

落ち葉プールは、もう一回1月25日（土）13：00～15：00にも遊んでもらいました。

●栄区行事(森でのイルミネーション等)に対する市長陳情と回答について●

1 2月6日付で友の会から横浜市長宛の市長陳情を提出し、1月17日付で回答ありましたのでご報告します。

昨年突如実施され、再三の中止要請にもかかわらず今年は期間が拡大されてしまった森でのイルミネーションの見直しは栄区には一切聞き入れられず、事業の目標・評価の疑問に対する回答もありませんでしたが、今後も関連行事に対して、関係区局間の事業の整合や「横浜つながりの森」の趣旨の遵守、推進体制の構築等がなされるよう、引き続き働きかけをしていきます。

<市長陳情(抜粋)>

横浜つながりの森事業 及び横浜市栄区による「MISIAの森プロジェクト」関連行事についてのお願い

昨年度以来、(標記の)栄区事業において、本来であれば生物多様性を重視し、本来持つ魅力の情報発信に資する事業とされるべきところが、残念ながら森の魅力や長年培ってきた価値を低下させ、国内外に定着している生物多様性保全の先進地＝横浜のイメージを損なうような、森の保全や体験と関連性の薄い、政策の趣旨とは正反対の事業が含まれており、その悪影響が危惧されております。さらに、昨年度以来の栄区の対応について、当会からの建設的な意見や提案を無視し、一方的に協議を打ち切り、連絡を絶つなど非常識なものとなっており、長く信頼感をもって協働してきた横浜市のこれまでの姿とは全く異なるものとなっております。

よって、以下の点につきまして、関連5区局の調整をいただき、早急なる対応をお願い致します。

1 栄区による森でのイルミネーション事業など、異質な人工物等で集客を図ろうとする事業を見直すこと。(理由:「夜は静かで暗いもの」等、森のあるべき姿を否定し、星空観察などを妨害し、森の魅力や魅力を損ない、森の生きものに悪影響を与え、他の市街地においても実施できる行事であり、妥当性がないため。)

2 栄区による関連行事等事業の目標・評価を、単なる集客に置かず、生物多様性や環境保全意識の向上などと関連性のある基準や指標とし、生物多様性の活動の現場にいる者の意見が汲み取られるよう、十分な市民参画及び関連部局との連携、事業の整合を図ること。

3 「横浜つながりの森」を、保全に留意しながら体験の場として十二分に活かすため、関連5区局による連携を強化し、栄区事業を含む関連事業が「ヨコハマbプラン」の趣旨に沿って保全や体験についてよく検討された内容となるよう精査し、各事業が有効に機能するよう、横断的に企画調整を行うなど、推進体制を構築すること。 以上

<市回答(抜粋)>

(標記の)事業展開にあたって貴会への対応について、意見交換が十分でなかったと考えています。

1について、設置場所や点灯時間を限定するなど周辺環境への配慮を取り入れており、期間中に森を歩くイベントや星空観察会など森の魅力を伝える取組も進めています。今後の事業実施にあたっては森の魅力を伝えられる取組を進めていきます。

2について、「横浜つながりの森」構想の事業実施にあたっては、基本方針「生物多様性を大切にす」「自然を楽しむ」に沿うよう、関連区局で整合を図り、市民参画をいただきながら進めていきます。栄区事業においても、生物多様性や環境保全に目を向けるきっかけづくりを目指しており、連合町内会長等で構成する実行委員会により区民参加で進めています。今後、より一層幅広い区民の皆様のご意見を伺いながら進めていきます。

3について、関連区局が日頃から情報を共有し、それぞれの企画が「生物多様性を大切にする」「自然を楽しむ」二つの方針に沿った事業となるよう、取組や事業の内容及び方向性について、確認や調整を引き続き行っていきます。

この旨ご了承いただき、貴会の皆様によりしくお伝えください。(担当:環境創造局政策課・栄区地域振興課)

友の会活動報告

●自然案内人講座 報告●

11月30日(土)、12月1日(日)の二日連続の講座として、ハンミョウの会が毎年行っている身近な素材を使った自然案内人講座を開催しました。

これは、友の会の一般来園者向けの活動、ガイドウォーク「季節の森を歩こう」の経験やノウハウを、自然案内に興味のある方に活用してもらおうという趣旨で行っています。

今回も、4名の参加者があり、二日目の午後には、12月の「季節の森を歩こう」の本番で、自分が作ったプログラムを実演しました。

皆さん目的が具体的で大変熱心な上に、レベルも高いものでした。参加者の中には、翌月から私たちの活動に参加してくれている方もあります。

この講座は、先般急逝された大越幸久さんも、長年、中心メンバーとして運営に携わってこられ、今回もスタッフとして、参加者にいろいろ助言しておられた姿が忘れられません。

ご冥福をお祈りします。

(担当：森の案内人・ハンミョウの会 中塚)

●森の交流会 望年会 報告●

12月23日(月・祝) 参加者 33名

お餅つきなどの準備をしている人以外は、恒例のゴミハイクに出発。1時間ぐらいで戻ってきました。みんな一生懸命ゴミを探しました。さて、成果は？

嬉しいことに、年々ゴミは少なくなっているようですね。観察の森を訪れる人たちはマナーもしっかりしているのですね。

焼き芋、豚汁をいただいていると、お餅がつき上がりました。おろし餅、

あんこ餅、きなこ餅とどれも美味しい！残ったお餅は、お土産です。

来年は、もっと多くの会員が参加してくれるといいですね。 横浜自然観察の森友の会 事務局

友の会行事のお知らせ

●スズメバチの生態と安全管理●

昨年、円海山緑地で中学生のグループがスズメバチに襲われて負傷するという事故があり、横浜市からも改めて注意喚起が行われています。

環境保全活動をする人たちにとって、夏から秋にかけてもっとも注意を要する生きものですが、ただ危険だと警戒をするだけでなく、その生態を正しく理解して、ハチにもやさしく、人にも安全な付き合い方をしたいものです。

今回、ハンミョウの会の勉強会として企画した「スズメバチの生態と安全管理」を、友の会の安全管理講座として、会員であればどなたでも参加いただける形で開催することになりました。

次のシーズンの安全な活動のためにも、是非、ご参加ください。

日時： 3月15日(土) 10時~12時

場所： 自然観察センター研修室

講師： 中村雅雄さん(新日本新書「スズメバチの逆襲」著者)

お申し込みは、3月8日(土)までに、下記宛または定例会メールリングリストで、お名前と所属プロジェクトをご連絡ください。

charlieonearth@c3-net.ne.jp 中塚

(担当：安全管理担当理事、森の案内人・ハンミョウの会 中塚)

●森の絵本づくりの会からのお知らせ●

絵本”森がのこった”をパネル化しました。

ゴロスケ館に展示しています。

同時にZFCの石黒さんが復元した”パイスケ”も展示しています。

期間は3月26日(水)までです。

みなさん見に来てください。

絵本の会 しかま

●森を守る作業体験 炭焼き●

「横浜自然観察の森」で間伐した木材をドラム缶窯で炭にします。
バウムクーヘン焼きもあります。

1. 日時：2月22日（土）9：00～15：00
2. 募集数：20名（先着順。小学生以上誰でも *小学生の方には成人同伴者が必要です）
3. 申込：センターか雑木林ファンクラブまで申込が必要です
eメール：entry_zoki@yahoo.co.jp
FAX 045-894-8892（観察センター）
4. 持ち物・服装
 - ・昼食および飲料（水分補給用）
 - ・長袖、長ズボン、帽子、手袋（イボ付き軍手など）、防寒着、タオル
 - ・衣服に煙の強い臭いがつきますのでご注意ください
5. 作業内容：炭焼き管理及び火を親しむ体験
6. 雨天・荒天時について：雨天決行します。嵐等が予想される場合は下記までお問い合わせ下さい
7. お問い合わせ先
横浜自然観察の森 045-894-7474（9：00～16：30）
8. 集合場所：観察センター前
9. 主催：横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ

●カワセミファンクラブ写真展●

A. JR 本郷台駅前駐輪場展示スポットでの写真展開催について

横浜自然観察の森の自然の豊かさを広く市民にアピールする為、横浜自然観察の森で撮影された野鳥の写真展を「横浜自然観察の森 野鳥の四季」と銘打って開催いたします。是非会場へお運び頂きたいと思っております。

1. 開催期間 : 平成26年3月3日（月）～3月17日（月）
2. 開催場所 : JR 本郷台駅前駐輪場展示スポット
3. 主催 : 横浜自然観察の森友の会カワセミファンクラブ

B. 横浜自然観察の森の野鳥とチョウ・トンボ写真展開催について

横浜自然観察の森には季節毎、一年を通し様々な生物が棲んでいます。

この写真展は「カワセミファンクラブ」のメンバーがボランティアとして一年を掛け観察・記録した野鳥そしてチョウ・トンボの写真を展示致します。写真展を通して、この森を訪れた人達に、この森の多様性・奥深さが伝わる事を願っています。

1. 開催期間 : 平成26年4月6日（日）～5月6日（火）
2. 開催場所 : ゴロスケ館
3. 主催 : 友の会「カワセミファンクラブ」

●はじめての ちいさなしぜんかんまつ会●

春、いろいろないきものたちが動きだします。いきものたちとの出会いを親子でいっしょに楽しみましょう。ほんもののおたまじゃくし・ほんもののスミシにふれ、ほんものの自然にかこまれて、こどもたちが感じたことに耳をかたむけてみませんか。

日時：2014年3月23日（日）小雨決行（大雨の場合は、翌週3月29日（土））
午前の部：10：30～12：00 午後の部：13：30～15：00（2回とも同じコースです）
場所：横浜自然観察の森

対象：3才～小学校3年と保護者 40名（午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選）

申込：3月15日までに、下記の FAX かメールで「はじめてのちいさなしぜんかんまつ会」担当宛に、参加者のお名前、人数、お子さんの年齢、午前か午後か、連絡先の電話番号・あれば FAX 番号とメールアドレス、をお知らせ下さい。17日までにご連絡いたします。

FAX：045-894-8892 メール：kansatsunomori_tomo@yahoo.co.jp


問合せ：上記 FAX またはメールアドレスへ。

主催：横浜自然観察の森友の会事務局 「はじめてのちいさなしぜんかんまつ会」担当

Y.N.S. News 2

YOKOHAMA NATURE SANCTUARY

まはごちんと
おていけい...



横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2014年 2月号

参加のおさそい ～観察の森の森づくりをみんなで考えましょう！～

保安全管理の懇談会【後期】

- ★日時 3月2日(日) 10:00～12:00
- ★場所 研修室にて
- ★内容 今年度、横浜市、レンジャー、友の会の皆さんが行なった環境管理・補修工事の結果を確認し、来年度について展望します。「こんな森にしていきたいな」というお話ができればと思います。

桜林や園内の環境管理に関心をお持ちの方ならどなたでもおいでください！

桜林の検討会【第5回】

- ★日時 3月15日(土) 14:00～16:00
- ★場所 研修室、桜林にて
- ★内容 桜林の保安全管理の実施を考える会、今年度の最終回です。第4回の結果をもとに修正した実施計画を皆さんで確認します。



- ★参加のお申込みは前々日までに自然観察センターへ。
電話：045-894-7474

E-mail: yokohama-nc@wbsj.org 担当レンジャー：古南(こみなみ)・赤星(あかほし)

保安全管理計画のフォローアップご報告

■ 桜林の検討会 (第4回) ■

- ▼日時 1月18日(土) 14:00～16:00
- ▼参加者 友の会会員 11人、横浜市みどりアップ推進課 2人、レンジャー2人
- ▼結果 11月の検討会参加者の皆さんで行った調査結果に、12月に有志で行なっていただいた補足調査結果を加えて、桜林の樹木地図が出来ました。これに基いた「桜林の保安全管理実施計画」の方針案を前に、今後の伐採や下草の刈残し方法、モニタリングの調査の方法についてご意見をいただきました。ご意見をもとに修正した計画を、第5回の検討会で皆さんにご確認いただくこととしました。立枯れの桜等すぐに処理が必要な木は、年度内に伐採することとしました。(古南)

アライグマ捕獲檻の設置のお知らせ

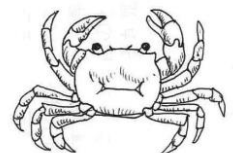
ヤマアカガエルの卵を食べてしまうなど、横浜にもともと住んでいた生きものたちに悪影響を与えている外来生物のアライグマの捕獲を試験的に行うため、捕獲檻の設置が行なわれます。

▼期間：2月末から3月中旬

▼場所：ミズキの道・コナラの道 ③周辺、⑥周辺、の2か所を予定

檻の設置や管理、日々の巡視、捕獲対応は、横浜市(環境創造局動物園課)が委託した業者が行います。ご質問やお気づきの点がありましたら、担当レンジャー(掛下・古南)までお願いします。

(アライグマはペットとして輸入されたものが野外で増えて、日本の生態系に悪影響を与えており、法律で輸入や飼育が禁じられる「特定外来生物」に指定されています。)



補修工事のお知らせ

野外施設の補修工事を引き続き3月末まで行っています。この関係で、ミズキの道の一部（長倉口野外トイレ～ノギクの広場）が通行止めになっています（3/19まで）。皆様にはご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

①野外トイレ・車庫の改修工事（3/25までの予定）

- ・センター近くの野外トイレと車庫を建直しています。期間中、仮設トイレを2基設置しています。

②園内工事

- ・ミズキの道のコナラの谷に下りる階段を改修し木道を直します。3/19（予定）まで、長倉口野外トイレ～ノギクの広場の区間を工事のため通行止めとさせていただきます。
- ・サイン改修：園内入口（5箇所）の総合案内板を新しいものに取替えます。
- ・コナラの道⑥～⑪付近の園路を補修し排水を改善します。
- ・野外卓新設（アキアカネの丘下に2組、ミズキの道⑮付近に1組）
- ・ベンチ新設（ミズキの道⑰～⑱付近に2基）

工事に関する情報は、引き続きホームページでもお知らせしていきます。

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/index.html>

ご質問やお気づきの点はレンジャーまでお願いします。（古南(こみなみ)、赤星(あかほし)）



ホランエイジ

** 12/7～2/6 **

ありがとう

- 12/7 漆原弘光さん：行事「生きものを知る守る 林のパトロール隊 体験編」サポーター
12/11 雑木林ファンクラブの皆さん：ストーブ用薪づくり
12/14 雑木林ファンクラブの皆さん：紙芝居の台取替え
12/14 漆原弘光さん：パソコン不具合診断
12/18 事務局内グループ 野草の調査と保護の皆さん、雑木林ファンクラブ 大越哲朗さん：桜林毎木調査
12/23 望年会にご出席いただいた皆さん：ゴミハイクでトレイルおそうじ
12/25 雑木林ファンクラブの皆さん：年越しのしめ縄づくり
12/23 カワセミファンクラブ佐々木祥仁さん タウンニュース 1 月分掲載記事写真提供
12/24～1/6 藤田薫さん：保全管理計画書の校正
1/12 松田久司さん：書籍寄贈
1/12 漆原弘光さん、村松古明さん：行事「生きものを知る守る 林のパトロール隊 実践編」サポーター
1/18 雑木林ファンクラブ工藤国敏さん：紙芝居の台座作成
1/18 桜林の検討会にご出席いただいた皆さん：保全管理実施計画検討
1/18～1/31 藤田薫さん、平野貞雄さん、篠原由紀子さん：保全管理計画書の校正
1/22 雑木林ファンクラブの皆さん：伐採が必要な木の確認
1/23 カワセミファンクラブ平野貞雄さん・渡辺美夫さん タウンニュース 2 月分掲載記事写真提供
2/5 雑木林ファンクラブの皆さん：ストーブ用薪づくり
12/7～2/6 カワセミファンクラブの皆さん 展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供
12/7～2/6 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん 自然情報のご提供

おくやみ 友の会会員の太幸久さんが、1月29日、くも膜下出血のため急逝されました。太幸さんはハンミョウの会、鳥のくらし発見隊で活躍され、センター主催行事の講師も務めていただいていた。これまで長年のご厚情に感謝申し上げ、心からご冥福をお祈りします。

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/> ｲﾗｽﾄ 大久保香苗

行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●森を守る作業体験 炭焼き →7ページ参照
2/22(土) 9:00～15:00 雨天決行
募集数: 20名(先着順。小学生以上誰でも)
*小学生の方には成人同伴者が必要です
申込: 必要。センターか雑木林ファンクラブまで

●カワセミファンクラブ写真展

A. 3/3(月)～3/17(月)
場所: JR本郷台駅前駐輪場展示スポット
B. 4/6(日)～5/6(火)
場所: ゴロスケ館 →7ページ参照

●講座「スズメバチの生態と安全管理」

3/15(土) 10:00～12:00
申込: 3/8までに担当まで。 →6ページ参照

●はじめてのちいさなしぜんかんさつ会

3/23(日) 小雨決行、大雨は3/29に延期
午前の部 10:30～12:00
午後の部 13:30～15:00
対象: 3才～小学校3年と保護者 40名
(午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選)
申込: 3/15までに担当まで →7ページ参照

●友の会 第26回定期総会

4/6(日) 10:00～12:00
場所: 自然観察センター研修室 →1ページ参照

■生きもの講演会

～源流域の魚と水の生きものたち～
お話と実習で学びます。
3月8日(土) 10時～15時(雨天決行)
講師 神奈川県水産課 勝呂尚之さん
対象 中学生以上 40名
申込 行事名、全員のお名前(学生の方は学年)、
返信先を書いて、FAX、E-mail
(yokohama-nc@wbsj.org) または往復は
がきで自然観察センターまで。2/28×切

■にぎわいの森を歩くバードウォッチング

日本野鳥の会神奈川支部リーダーがご案内。初心者・ご家族連れ歓迎です。
3月9日(日) 9時～13時(雨天時は室内)
申込 不要
持物 お弁当・飲物・筆記用具・双眼鏡と図鑑(貸し出し有。ただし先着順)

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～
4/20(日) 9:30～14:00
受付: 直接、自然観察センターの研修室へ
対象: どなたでも 雨天催行
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
3/2(日)・4/6(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付: 30分前から 自然観察センター前にて
対象: どなたでも
担当: 森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
4/13(日)
9:00～13:00 雨天中止
受付: 自然観察センター前にて 対象: どなたでも
担当: 鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～
3/19(水)・4/16(水)
10:00～12:00 絵本製作
受付: ボランティアルーム 対象: どなたでも
担当: 森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
2/22(土)・3/22(土)・4/26(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付: 30分前から 自然観察センター前にて
対象: 子どもから大人までどなたでも
担当: 自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2014年2月16日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yms_tomo/

E-mail: yms_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回: 定例会 3/16(日)、原稿締切 3/22(土)、発送 4/20(日) (発送担当: 森の絵本づくりの会)